

ヒヤリ・ハット事例

一般社団法人千葉県産業廃棄物協会

28.9.30までの回答分

外注作業その他

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
1	千葉県南房総市一部地先	母屋解体及び立木伐採工事中。立木6本(直径20cm~60cm)を4名にて伐採時、	最後の1本(直径60cm、高さ8m)に重機でワイヤーを張り、もう一方はロープを張っていたが、太い枝があり、木が右回転してしまったため、市道(幅員4m)方向に倒れてしまった。幸い歩行者、車両等には被害はなかった。直ちに重機にて倒木を敷地内に入れ、事なきを得た。 ※倒れる方向に切口はしてあった ※誘導員は1名配置していた	・立木の伐採は、始めに太い枝を伐採してから幹を切断すべきであった ・切口を大きくする ・張ロープをもう1ヶ所追加する ・誘導員も1名増員すべき					○
2	南房総市市部地先	個人住宅の敷地内を整備中、カワラをバックホーにて2t車に積み込み中	使用済みのカワラ2t車で2台分くらい(3~4t)を積み込み中、バックホーのバケットからカワラが落下して、あやうく通りがかかった作業員に当たる所だった。幸い直前をかすめたため、難を逃れた。	1)作業半径内の進入禁止 2)オペレーターの左右の安全確認 3)重機の旋回時のスピードを控える 4)バケットの積荷を最大容量の80%位にする 5)誘導員を配置する					○
3	土手道	朝通勤中(午前4時ごろ)	人の高さより伸びた草むらから道を横切ろうとする、早朝散歩人がいた。	前方の広い視野での注意。いつでも止まれる速度で走る。		○	○		
4	埼玉県吉川市の路上	通勤途中	武蔵野線ガードを過ぎたあたりで前の乗用車が中央線の上を蛇行運転していて危なかったため間隔を空けて走った。	車間を空けてゆっくり走る。		○			
5		家に帰る途中青信号で交差点に入っていたとき、	歩行者信号が点滅していたので注意はしていたが、左からカッパを着た老人が自転車で入って来て接触してしまった。	横断してくる歩行者・自転車がいるかもしれない、と思って交差点を通過する。		○			
6		建屋に保管してあるセメントをフォークリフトで並べる作業中	養生作業をしていた担当者を、運んでいるフレコンと置いてあるフレコンの間に挟みそうになってしまった。	フォークリフトでフレコンを運ぶと前方に死角がでしまうので、必ず置く場所の確認は目です。フレコンだけに集中せず、周囲の確認や緊張感を忘れない事。			○		○
7		重機を給油しやすいように旋回していた際	中通路から受入に行く際は個々の確認をしていたが、帰ってくる際は何も確認が取れておらず、人と重機の旋回でビット内転落しそうになった。	中通りでも重機が動いている時は必ず無線にて連絡する。	○				○

8	船の内部	重機をステージに上げる作業を行っていたとき	<p>重機を吊り上げていたオペレーターに対し、重機の底がステージを超えたと合図したが、旋回中にキャタピラ部分が縁に接触してしまい、ワイヤーが切れ落下する可能性があった。</p> 	<p>全体を確認できる位置にて作業を行い、余裕を持ち、確実に安全が保てる位置、状態になるように合図・作業を行う。</p>					○
---	------	-----------------------	--	--	--	--	--	--	---

収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
1	処分場	現場から積んできたアスファルトガラをダンプアップして降ろそうとしたが、ガラが大きく詰まってしまった。	様子を見ようと運転席から降りて後方に行こうとしたときに、上部のガラが横から落ちてきた。	・見に行くときは、ダンプをおろしてから行く ・現場に言って、ガラを小さくしてもらい、詰らないようにする	○				
2	八千代市スーパー荷捌所内	バック走行中	他業者の搬入車両が作業中でパワーゲートとふたが開いているのを、横向きの為、見落としてしまった。	・バックモニターに頼りすぎ ・車両から降りて安全確認	○				
3	収集現場内	シート掛け作業中	積み込みが終了し、荷台の上でシート掛けをしようとした際、強風が吹き、シートがバタついて通行人の方に当たりそうになってしまった。	・強風時はシート掛けをしない ・通行人に当たることがないように、周囲の状況をよく確認しながら作業する	○		○		
4	一般道	信号待ちで停車中	進行方向の信号が青に変わり発進しようとしたら左から歩行者が来ていて、気が付かずにつつかりそうになった。	信号が青に変わっても周囲の状況を確認し、目視とミラーにて安全確認がとれるまで、決して動かない。		○			
5	首都高3号線谷町JCT	雨天時走行中	前を走る車両がスリップして横向きに停止し、つつかりそうになってしまった。	雨天走行時はいつも以上に車間を空けて、予測運転を徹底する。		○	○		
6	収集現場内	重機の積み込みのため、重機に向かってバック中	オペさんが合図してくれるだろうとの思い込みから、重機に近づきすぎてしまった。	停止位置をオペさんとしっかり打ち合わせる。	○				○
7	東関東自動車道大栄IC	左側から合流にある本線上を走行中	大栄ICから合流しようとしてきた車両がいたので、減速して前に入ってもらおうとしたが、左前方で相手が止まってしまった。相手がどんな動きをするのかわからないので、当方も停車してしまった。	思い込みによる、だろ運転は非常に危険なため、冷静に周囲の状況を見極めて運転をする。	○	○			
8	一般道	一般道を直進にて走行中	前車が右折しようとしていたので、左側を抜けようとしたら、前車が右折せずに直進したため接触しそうになった。	例えウインカーを出していても、他車がどんな動きをするのかわからないので、だろ運転はせずにしっかり予測運転をする。		○			
9	一般道交差点内	交差点を、前車に続き左折しようとしているとき	歩行者信号が赤だったので、前車に続き左折しようとしたら、信号無視の歩行者がいて前車が急ブレーキを掛け、追突しそうになった。	交差点内は特に危険が多いので、いつも以上に、かもしれない運転をして周囲をよく確認する。		○			
10	一般道	夜間、狭い路地から大通りへ出ようとしているとき	大通りへ右折で出るため車に目が行き過ぎて、歩行者を見落としていた。	歩行者最優先を常に意識して、慌てず、目視確認の徹底を実行する。	○				
11	一般道	交差点で右折しようとしているとき	徐行していた際、ミラーの死角に人が入り、ヒヤッとした。	窓を開けて、体もよく見える位置に動かして、確認をする。			○		

収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
12	収集現場内	積み込み作業中	ユニック車で荷積み中、現場の作業員の方が、ユニックの作業範囲内に入ってきて、ヒヤッとした。	ユニック作業時は、旋回範囲内に立ち入り禁止の養生をする。		○			
13	河原子街道手前	河原子街道へ右折し、合流しようとしている際	河原子街道を直進してきた5台の車輛の最後部の車輛が追い越しをかけてきて、危うく衝突するところだった。 (道路は追い越し禁止)	合流場所手間の車輛の動きだけでなく、後続車の動きにも注意する。		○			
14		パッカー車で段ボールを回収中	積み込んだ段ボールが落ちないように手で押し込んでいるときに、手を挟まれそうになった。	連続回転で作業していたので、単独回転で回収作業をする。	○				
15		運転中	見通しの悪いT字路で、右折するため一時停止した後ゆっくり曲がろうとしたら、小学生が自転車で勢いよく左側から車の前を走り抜けて行った。	事故防止と自己防衛のためにも交通ルールは必ず守った方が良い。		○	○		
16	茂原	左折時	左ミラーを確認しながら横断歩道を左折しようとしたとき、ミラーに映らない角度から自転車がかんりのスピードで入ってきた。	ミラーだけでなく目視もするようにする。		○			
17	東北自動車道下り	高速走行中(80Km/時)	出口手前100m付近で、右車線から乗用車が突然自分の前に車線変更し、出口レーンに降りて行った。	いつ車線変更してこられても大丈夫なように注意して運転する。		○			
18	高速道路	料金所通過時	料金所を通過する直前で、隣を走行していた乗用車が急に前に割り込んできて急ブレーキをしてしまった。	隣のレーンを走行している車が急に進路変更をしてくるかもしれないと予想し、車間距離を十分に取り走行する。		○			
19		運転時	運転中に物を探している時、視界をはずしたら他の車に接触寸前だった。	運転中に探し物をしない。整理整頓をし、探し物をせずにすむようにする。	○				
20	市川市京葉道路	走行中	左から普通自動車が割り込んできた	前後左右、人や障害物、走行車の動きを十二分に確認しながら走行する。		○			
21	市川市松戸線1	路肩に駐車中の乗用車を抜くとき	乗用車のドアが急に開いた	大回りする		○			
22		雨の時、信号待ちからの発進時	左ミラーに傘さし運転している自転車が見えた。自転車がギリギリの幅で通行しようとしていたので、すぐ停車した。	発進時、ミラーの確認をする。		○			
23	直線道路で	走行中	歩道で自転車に乗っていた子供が急に車道に出てきた	歩道などで子供を見かけたら横を通る際は徐行する。		○			
24	会社前の道路	右折時	左から乗用車がかんりのスピードで来てヒヤリとした。	道路に対して出る角度を変えて右折する。		○			

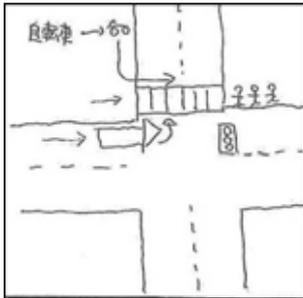
収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
25	交差点で		信号が赤から青に変わったので発進したら、信号無視の自転車が渡ってきた。	信号が青になっても信用しないようにする。		○			
26		走行しているとき	左カーブで対向車がセンターラインギリギリに回ってきて接触しそうになった。	最徐行をし、カーブミラーなどで対向車の有無を確かめて通行する。		○			
27	港区台場	青梅方向からR357を右折するとき	右折専用レーンを走行している時、後ろの車が自車をかわし、直進した。続けて2台めの車も同じように直進しようとしてきたところ自車にぶつかった。	自分が交通ルールを守っていても相手が守らなければ事故は起きる。ハンドルを握ったら十二分に気配りしながら気を付ける。		○			
28		シート掛け作業	安全帯を掛ける場所の無いところで、シートを掛け終わり荷台から降りる時、ハシゴから落ちそうになった。	ハシゴ部分の滑り止め等、改善する。				○	
29	国道で	10tダンプで直進中	右車線からウィンカー無しで左折してきた。	制限速度を守り周りに注意する。		○			
30	高速道路料金所入口	料金所通過時	ETC通過した際、少し遅れてETC通過した右レーンのトラックが強引に入ってきた。	明らかに自分の方が優先だとわかっていても、常に相手がどのような動きをするか予測しなければならない。(危険予測)		○			
31	一般道	走行中	ヘッドホンをして、スマホをいじりながら走行している自転車が多数。	自分が注意するしかない。		○			
32		走行中	子供が横断歩道ではないところで急に道路に飛び出してきた。	よく目配りをして運転する。		○			
33	一般道路	信号待ち	信号待ちで停車中に前車が対向の右折車に進路を譲ろうと急発進でバックしてきた。クラクションを鳴らしたので接触は回避できた。	信号や渋滞で停車中も脇見をせず周囲の状況を把握するよう心掛ける。		○			
34	首都高のJCT	運転中	片側4車線のJCTで、乗用車が一気に2車線変更してきたため、自分のトラック真横にぶつかりそうになった。	車間距離を十分にとり、周囲をよくみる。		○			
35	群馬県太田市	現場に向かうとき	直進で道路を走行中、右のコンビニ駐車場から急に自分の前に車が入ってきた。	視野を広げて止まれるスピードで走る。		○			
36	国道6号線金町付近	現場に向かう時	片側2車線の右側走行中、青信号の交差点手前で左側車線の乗用車が、急停止した前車両を避けるために右側の車線に大きくはみ出してきたため、接触しそうになった。	急停止した乗用車を確認した際に「その後ろの車がはみ出してくるかもしれない」と予測しておくことが大切。		○			
37	埼玉県寄居町245号線	片側二車線道路右側車線走行中	左側車線を併走していた車輛がこちらを確認せず、ウィンカーも出さず車線変更してきたため接触しそうになり、慌ててよけた。	周りを走っている車輛、ドライバーすべてが交通ルールを守っているとは限らないので、これまで以上に周囲に注意すること。		○			

収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
38		左折	ゆっくり左折し始めたら信号無視の自転車が横断歩道を渡ってきた。当車はスピードが出ていなかった為、横断歩道の手前で停車した。	左折や右折の矢印信号が出ても周りによく注意し、信号無視して横断歩道を渡る歩行者や自転車がいないか良く確認し、ゆっくり曲がるのが望ましい。		○			
39	高速道路	ETCレーン走行中	前の車と車間を取り走行中、右レーンを走行中の車が自分のレーンに入ってきた。危なくぶつかる所だった。	車間を取っても左右を見る。		○			
40		左折時	後ろの方から歩行者・自転車・バイク等がものすごい速さで来ることもある。	一度確認した後、もう一度確認して進む。		○			
41	片側一車線道路	走行中	歩道を走行していたロードバイク(自転車)が突然車道側に出てきた。	自転車の転倒なども考えられるので十分距離をとる。速度も落とし走行する。		○			
42	積込場所	フレコンをリフトで吊り上げてコンテナに入れるとき	作業者をフレコンとコンテナの間に挟みそうになった	作業者との声掛けが足りなかった。作業前にリフトの上げ下げの時の合図などを事前に決めておけばよかった。	○				
43	一般道	走行中	左前方の歩道を走っている自転車が急に車道に出てきてヒヤリとした。	自転車を完全に抜き去るか、自転車がなくなるまでは、常に自転車の存在を頭の片隅に入れておき注視する。もしくは、車道に出てくるものだと思っておく。		○			
44	国道6号線で	交差点で左折時	左折しようとした時、自転車が赤信号なのに渡ってきた。	信号が赤だから歩行者は渡って来ないだろう、と過信しないようにすること。		○			
45	高速道路	走行中	路面の段差に気づかずハンドルがとられた	路面をよく見る。		○			
46	埼玉事業所車庫	車庫から右折をして出庫するとき	左右を確認して右折を始めた際、ものすごいスピードでバイクが走行してきた。	左右を何度も確認したが、速く走るバイクの存在を確認できなかった。これからは、安全だと思っても再度十分確認するようにする。		○			
47	一之江付近の交差点	自車方向が青信号で通過しようとしたとき	高齢者が下を向いたまま自転車を押して目の前を横断してきた。	高齢者には信号の有無、色などとは関係ないようなので姿が見えたら減速し注意を払う。		○			
48	環状七号線葛西付近	帰社するため直進中	3車線の左レーンを直進中に真中を走行していた4t車が急に左に寄ってきてヒヤリとした。	他の車の異変に気を配ってスピードを出さないように注意して運転する。		○			
49	工場内	コンテナの入替作業中	前方のフォークリフト担当者がサイドブレーキを引かないで降車したため、後退してきて自分の車に接触しそうになった。	(相手に)サイドブレーキの確認、歯止めの徹底をしてほしい。		○			○

収集運搬

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
50	関越自動車道	3車線左側を走行中(80km/時)	出口手前で、前方の車が3車線の真ん中から2車線またいで車線変更をして来たのもう少して事故になるところだった。	車間距離を十分に取って走るのが良いと思った。		○			
51	工場・処分場	トラックで積み荷を降ろすため荷卸し場でバックしているとき	バックで進入するところで、明るい場所から暗い場所に入ったため目が慣れず、中の状況がわかりにくくて物に当たりそうになった。	後方の状況がわかりにくい場合は降りて後方確認をする。	○		○		
52	原木インター付近(一般道)	6tダンプを運転し、車庫に戻る途中	片側二車線ある右側(直進レーン)を走行中に、左折専用レーンを走行していた車両がいきなり直進レーンに割り込んできた。急ブレーキをかけたため当らずにすんだ。	(相手に)徐行をして状況を確認してから右折してもらいたい。		○			
53	交差点で	左折をしようとしているとき	ミラーを確認しながら進行し、横断歩道上を通過し終わるかと思ったときに目の前を自転車か速いスピードで横切っ行き、急ブレーキとなった。	右左折時、前進後退時は、最後の最後まで確認を怠ってはならない。		○			
54	車庫で	バックで車庫に入れるとき	隣の車の陰から子供が出てきてヒヤッとした。	一度車を降りて後ろを確認してから車庫入れする。		○			
55	江戸川区篠崎町の京葉道路交差点横断歩道	朝、現場に向かうとき	京葉道路交差点を右折する際、歩行者が横断し終わったので左右確認し少し発進したところ、右から猛スピードで自転車が目の前に現れ、急ブレーキを踏んだ。あわやぶつからずに済んだ。	左右確認したが、発信する前にもう一度確認すべきだった。		○			
56	江戸川区篠崎町の路上	朝、車庫を出て現場に向かうとき	信号の無い交差点で、両者一方通行で相手が一時停止の状況で、自分が左折をするため相手の一時停止を確認し、ハンドルを切りながら出ようとした時、相手がいきなり目の前を走り抜けて行った。	信号の無い交差点では自分も一時停止をして周りの状況をよく確かめて運転をする。		○			
57	市川市塩浜交差点内	信号が青になり、左折しようとしたとき	前方の信号が青になり、歩行者が横断したあとで左のミラーを確認しつつ、ゆっくりと左折しかけたときに、視界の外から自転車が飛び出してきた。 	左折のときは特に、死角があるのでミラーだけに頼らず、必ず目視といつでも止まれる安全な速度を保って走行することを心がける。		○			

中間処理

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
1	バイオガスセンター前	出社後、着替えてリサイクルセンターへ向かうとき	風が強く、製鉄所工場内の粉じん(砂ぼこり等)が飛んできて、顔面や目に当たりそうになった。	ゴーグルを装着する。			○		
2	水処理設備にて	水中ポンプ点検時に	水中ポンプが焦げくさく、確認すると漏電していた。	定期的にコード類の点検を行う。				○	
3	ブロワー室前で	歩行時	地下への荷降ろし用扉の蝶番が出ており、躓きそうになった。	蝶番を黄色塗装し、注意表示をする。			○		
4	クーリングタワー周辺	歩行時	クーリングタワーの水が部分的に詰まって苔が生えてしまっているところを歩行し、滑って転倒しそうになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・水が詰らないよう定期的にメンテする ・苔が生えているところは清掃し、滑らないようにする ・足元をよく確認し、歩行する 			○		
5	1号炉クエンチ上部にて	炉体冷却水エアー抜き時に	高温の水蒸気が出て、火傷しそうになった。	ホースを持ち、反対側に向けてエアー抜きをする。	○				
6	炉下部バーナ床にて	バーナ点検時に	床の点検口の蝶番の取っ手に躓き、転倒しそうになった。	取っ手部を黄色塗装し、歩行時は床面も確認して行動する。				○	
7	排水処理脱水機室で	新設配管の通水作業時に	配管接続部より液が漏れ、浴びそうになった。	通水時は漏れるかもしれないのKYを考え、保護具着装し、被液しないような体勢をとる。			○		
8	酸性水熱交換器で	バルブ閉止操作をする際に	バルブが固く、無理をしてバルブ操作をしたところ、腕を痛めた。	無理をせず、パイプレンチ等を使用し、操作する。	○				
9	水処理設備にて	処理水槽のサンプル取り出し部のホースを外し、詰り除去作業をしているとき	取り出し配管に亀裂があり、処理水が身体にかかった。	残液、残圧などの確認を行い、保護具を着装し、万が一、液が飛散した場合でも、身体に被液しないようにする。	○			○	
10	水処理設備にて	pH計交換作業時に	取り外したpH計の電極のカバーに電極を固定したと思いきみ、バルブを開けたところ、電極が飛んで液が噴出し、被液しそうになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・チェックリストを作成し、チェックする ・指差呼称を行い、確実な作業を実施する 	○				
11	処理場内	場内にて追跡の人が写真を撮っているとき	撮影者に気づかずダンプがバックし、危うくひきそうになった。	<ul style="list-style-type: none"> ・部外者の単独の出入りをなくす ・必ず撮影者以外に人を付ける 		○			
12	場内ドラム缶ヤード前	1m ³ 容器から廃棄物の吸い取り作業	1m ³ 容器からダンパー車で廃棄物の吸い取り作業をしていたところ、ダンパー車の排気ブローアから泡が噴出した。	廃棄物に発泡性があるか事前にテストしてから、吸い取り作業する。	○				

中間処理

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
13	場内前処理棟内	前処理作業中	段ボール箱の中に入っていたスプレー缶に気が付かず、ピットに投入してしまった。 その後、作業途中にスプレー缶に気が付き、エアラインマスクをつけてピット内にあるスプレー缶の除去にあたった。 今までこの廃棄物の中にスプレー缶が入っていたことがなかったのに、未確認のままで投入した段ボールがあった。	段ボール箱のような、中身の確認が困難な廃棄物は、全て開封チェックをしてから処分作業する。 排出事業者に対し、スプレー缶等の異物を混入しない様、改善策を求める文書を作成し渡す。 改善策について回答を貰ってから、次回搬入の受付を行う。	○	○			
14	場内前処理棟ピット前	ダンパー車荷下ろし作業	運搬業者がピットに汚泥荷下ろし後、タンク清掃のため後方のハッチが開いている状態で、ダンプアップしているタンク内に入って作業していた。(作業者は安全帯もしていなかった) 発見後すぐさまタンクから出てもらい、安全な場所で受け箱設置し、作業してもらった。	運搬業者にピット前で作業しないよう指示するとともに、作業後も監視員を配置する。		○			
15	廃水処理場	荷を降ろすとき	地面に油がこぼれていたため足を取られ、投入槽に落ちそうになりヒヤッとした。	周辺の安全確認			○		
16	事業所内	ダンプにて汚泥横持ち作業中	投入ピットのタイヤ止めに軽くタイヤを当てるつもりがクラッチワークをミスして急発進してしまい、とっさにブレーキを踏み、エンストしてしまった。ブレーキを踏まなければタイヤ止めに強く接触してタイヤ止めを乗り越えたかもしれないのでヒヤリとした。	いかなる時も絶対大丈夫と思うのではなく次の行動は危険はないか？本当に大丈夫か？数秒先の危険予測でヒヤリハットや事故を減らせると思う。	○				
17	場内ドラムヤード前	ドラム運搬作業中	リフトをバックで運転中、左側から来ていたトラックによそ見してしまった。その際、後ろに停車していたリフトに接触してしまった。	バック運転中はよそ見をしないこと。	○				
18	自社工場内	フォークリフトからの降車時(雨天時)	雨天時、搬入物を倉庫へ搬入するためシャッターを開けにフォークリフトから降車しようとシート横に手を置いたところ、雨で手が滑り、バランスを崩して転倒落下しそうになり、ヒヤッ！とした。	雨天時ではない時から、乗り降りの際は、アシストクリップを掴んで行う習慣にする。			○		
19	構内	廃棄物処理作業	再利用したドラム缶に「現在の中身」と「前回の中身」とが二重に表示されていたので、処理担当者が前回の表示が正しいと思い込み、違うタンクに入れそうになったが、別の作業員が気付き、大事には至らなかった。	容器を再利用する際には、前の表示を必ず剥がす(消す)。	○				

中間処理

	どこで	何をしているとき	何がどうした	改善すべき事項	不安全行動(本人)	不安全行動(他人)	不安全状況	不安全設備	重機作業
20	場内受入棟内	凍結した水道管の解氷作業	水道管は2mほど上にあるため、ハシゴを使って作業をしていた。上まで上ったところで、ハシゴが後方に40～50cmほど外れ、反動で脛を打った。後方に支柱があり、そこでハシゴの後退が止まったがもしそれが無かったら大きなけがをしたかもしれない。ハシゴには滑り止めのゴムがついていなかった。	ハシゴを固定する。 滑り止めがついていないハシゴを使用しない。				○	
21	場内ボイラー天井マンホール部	足場塗装	座った状態で後ろに手をついて後退しながら、エキスパンドメタルの足場を塗装していたところ、マンホール部分に手をつこうとしてバランスを崩し、マンホール内に転落しそうになった。安全帯をしていたため、転落はしなかった。	作業前にマンホールは閉める。閉められない場合は、落下防止柵を立てる。	○				
22	場内ロータリーキルン出口付近	定期修理期間中におけるクリンカー除去作業	ロータリーキルンの出口下部のクリンカー除去作業が終了し、次はキルン内部のクリンカーを除去しようとして外からキルン内部確認していた所、突然キルン内部天井のクリンカーが落下した。クリンカーが柔らかく、ハクリやクラックもあったので、すぐに中に入らずに安全確認をしていたため無事だった。	キルン外部の天井から水を噴霧することで落とせるクリンカーは落とす。キルンを回転させクリンカーが下になるようにしてから作業する。			○		
23	場内工作室	電動工具 点検作業	ディスクグラインダのコードを電源に差し込んだ所、急にディスクが回転した。スイッチの故障が原因でした。	ディスクグラインダは、回転部が急に回ることを想定し、周囲の状況を確認してから持ち手をしっかり持って電源を入れる。				○	
24	場内ドーム型車庫	フォークリフトの点検作業	点検終了後、台からフォークリフトを降ろそうとしたところ、後輪が台から落ちそうになった。 	作業台から降りる際はハンドルを切らない様指導した。	○				
25	工場建屋内	収集運搬車のコンテナをダンプ中	コンテナの扉を開いたとき、後部より荷が落ちてきて体に当たりそうになった。	・コンテナの扉を開くときは、扉の側面(タイヤ側)にいる状態で開けるようにする。 ・ヘルメットの着用 ・側面からの落下にも注意する	○				